

# 第21回少年の主張発表会

＝Where there's a will, there's a way＝  
(意志あるところに道は開ける)

「村民の青少年健全育成に対する関心を高め、理解を深めてもらう」と毎年行われている「少年の主張発表会」が先月11日、公民館講堂で開催されました。今年度はジュニア合唱団の発表も加わり、その歌声が発表会にいろどりを添える中、小学生4名、中学生6名は会場に詰めかけた家族などの前で、堂々と発表しました。



和納小学校  
6年 小池 和也さん

## 「将来の夢」

将来、僕は教師になって子どもたちに達成感を味わわせてやりたい。自分が先生から与えてもらった達成感をいっぱいの子どもたちに与えてあげたい。勉強ばかりでなく、人間として生きていくことの大切さも教えてやりたい。とても大変だと思うが逆にやりがいのある仕事だと思ふ。目標に向かって精一杯努力していきたい。



岩室小学校  
6年 本間 大地さん

## 「酪農家について」

朝早くから仕事に向かう酪農家の父と母。みんながまた寝て



和納小学校  
6年 武田 翠さん

## 「もしも、勉強がなかったら」

毎日の生活のなかで、いつも勉強をしなければならぬ。でも面倒でやりたくないときもある。でも学校に行くからたくさん友達がいるのだ。もしも勉強がなかったときのことを考え、さびに、世界には日本とはまったく違う状況の国々があり、勉強したくてもできない子ども



岩室小学校  
6年 後藤真裕子さん

## 「岩室村の自然を大切に」

私は、自然がいっぱいの岩室が大好きです。先日、学年で自分たちのできるボランティア活動について話し合い、間瀬海岸の清掃を行いました。いざ、出かけてみると考えられないほどのゴミがありました。そこで、私は自分たちの生活を振り返ったり、わたし自身のゴミへの意識の少なさに気づいたりしました。これからは自然と共存して岩室の良さを残していきたいと考えています。

たちがたくさんいることを知り、やっぱり勉強はやった方が自分のためになるんだということ再認識しました。



ジュニア合唱団の発表



岩室中学校  
1年 池上 貴之さん

## 「夢への一歩」

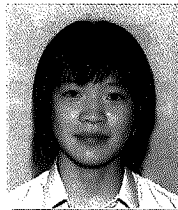
僕は野球が大好きです。将来の夢はプロ野球選手。そんな僕が中学校生活でも楽しみにしていたことは部活動です。目標はレギュラー。しかし練習についていけないかどうかも不安です。こんな不安を解消するために、野球をやりたいという強い気持ちを持ち続けることだと思ひます。僕の信念は「やればできる」です。レギュラー目指して頑張るぞ。



岩室中学校  
2年 有坂 拓巳さん

## 「兄としてバスケット」

兄に何かを頼まれると断らない自分に疑問を持ち、自分から見た兄について振り返ってみた。いつも小さいころは泣かされていた。しかし今はぜんぜん違つた。それは兄を見直したからだ。それはバスケットだ。僕は「兄みたいになりたい」とバスケットを始めた。だが、中学校に入るとそれは「絶対に兄を超える」に変わっていた。しかし、いつの日か僕が兄を超えたとしても、兄への憧れは変わらないと思ふ。



岩室中学校  
2年 田中 美樹さん

## 「少年犯罪について」

最近ニュースなどで少年犯罪のことを聞きます。なぜ、少年たちはこのような罪を犯すのでしょうか。この世界から犯罪をなくするのはとても大変なことだと思ふけど、それでも犯罪をなくす方法を考えてみました。それは家庭での育て方と周囲の人間関係です。この2つのことを心がけて、とんとん少年犯罪をなくして欲しいです。そして、とても平和な世界になってほしいと思ひます。



岩室中学校  
3年 菺瀨 美帆さん

## 「おじいちゃん」

さ、おいしさが身にしみるように伝わってきた。ところが、残量調査で、1日で約1クラス分の給食が残されていることを知った。作ってくれた人に感謝することも、自分の生命が維持される代わりに他の動植物たちが犠牲になってくれていることを忘れてはならない。今日の食事をすれば、今よりもっと楽しい食事ができるはずだ。

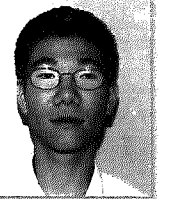
頑固で怒りっぽい祖父に対していやな面ばかりが印象に残っていたが、実際は花好きで、やさしい一面もあることを発見した。しかしその祖父が去年の秋「肺がん」と診断され、懸命の治療も及ばず今年他界した。祖父がなくなつて初めて見えたことや、感じられたことが多くあり、どうして今まで一面だけを見て決め付けていたのか、またなぜそのことに気づかなかったのか悔やんでも悔やみきれない。これから同じ後悔を2度としないように努めて生きたい。とても大切なことに気づかせてくれた祖父に感謝したい。



岩室中学校  
1年 稲垣 綾乃さん

## 「大切な友達」

私にとって友達はずっと宝物です。一緒に悲しんだり、喜んだり、励ましあったりできる友達を大切にしています。でも世の中には「いじめ」があります。人の心を傷つけるいじめはあってはいけないものだと思います。



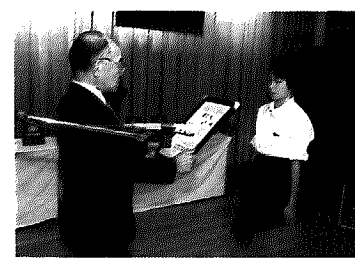
岩室中学校  
3年 本間 泰明さん

## 「もう一度感謝して」

「嫌いなものは嫌いなもの」10年前の自分はこの言葉をほぼ毎日、口にしてきた。しかし嫌いなメニューに勝つことを目標に食べ始めた。すると、今まではわからなかった給食の楽し

## 《遠藤ひかりさんに善行表彰》

少年の主張発表会に先立ち、岩室中1年遠藤ひかりさんに、小学校時「盲導犬の重要性を知り、進んで募金活動に参加し明るい社会づくりに貢献した」という善行に対して、青少年育成村民会議から表彰状が贈られました。



▲表彰される遠藤さん、左は斉藤会長

昨年の間瀬・岩室地区に続き、和納地区にも「青少年健全育成標語」看板を設置しました。

